

<目次>

●子育て安心の川崎をつくる2つの署名がスタート

■インボイス延期の願い切り捨てた川崎市議会

▲ お知らせコーナー

☆9/3 川崎市民大運動スタート集会

☆9/3 指定管理者制度について考える学習会

☆9/4 西加瀬プロジェクトを考える会

☆9/27 ゆめシネマ「ウクライナと戦争を考える日」

★ 編集後記

●子育て安心の川崎をつくる2つの署名がスタート

一つ目は、中学卒業まで子どもの医療費無料化を求める追加署名です。
目標は、11月末までに2万筆の追加署名を集め、市議会に提出し、継続になっている請願の再審議を求めます。

請願署名の要求項目は4つです。

- 1、対象年齢を中学校卒業まで引上げ
- 2、一部負担金500円を撤廃する
- 3、所得制限を入院だけでなく通院も撤廃する
- 4、入院費は窓口立替え払い無しの制度にする

東京では、2023年度から、高校卒業までの無料化が実現します。
隣の横浜市でも、中学卒業まで、所得制限もなく、一部負担金もなくす方向で検討が開始されています。

この4項目の請願は、2019年に提出されましたが、市議会文教委員会で継続審議になっています。

その再審議を求めて2万筆を目標に追加署名に取り組みます。

ただし、前回の署名をした方は、署名できません。

取り扱い団体は、川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会。

神奈川県保険医協会のホームページから署名用紙をダウンロードできます。↓↓↓

https://www.hoken-i.co.jp/outline/cat272/post_1621.html

2つ目は、川崎市独自の少人数学級をもとめる請願署名です。
8月28日に、教育署名スタート集会を開き、新たな運動を開始しました。
11月までに2万筆を集めて、市議会に提出します。
請願署名の要求項目は、以下の2項目です。

- 1、川崎市で30人以下学級をめざし、当面36人以上の過密学級をなくすこと
- 2、教職員の欠員をなくし、長時間労働をなくすこと

現在、川崎では小学校3年まで35人以下学級です。
国は、あと3年かけて6年生まで拡充します。

しかしこれでは遅すぎます。
多くの自治体が独自予算で4年生以上の少人数学級を実施しています。

川崎市も独自に中学校まで35人以下の少人数学級にすることを求めています。
また、川崎でも教員不足が深刻です。教職員の働く環境を改善し、必要な教員を必ず配置させましょう。
取り扱い団体は、ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会です。

署名用紙のダウンロードはこちら↓↓↓
<https://newkawasaki.jp/2022/08/29/post-1887/>

■インボイス延期の願い切り捨てた川崎市議会

8月18日に、市議会総務委員会で、市内60団体から提出された「消費税インボイス制度の実施延期を求める請願」の審議が行われました。
なんと、共産党議員3名の賛成だけで、不採択となりました。

インボイス延期は、市内の中小業者、自営業者、フリーランスのみなさんの切なる願いです。
審議では、共産党：後藤議員が、1人親方や大手量販店への納入業者からの具体的な事例を取り上げて、採択を迫りました。

また、共産党：市古議員は、インボイス導入により、市内免税業者にとって、増税や事務負担の増加が明らかであり、400を超える自治体が、すでに延期を求める意見書を提出しています。

川崎も、今回の60団体の請願を受け入れるべきだと迫りました。
一方、他会派は、インボイス制度の実施を前提にして、制度の周知を徹底することを川崎市に求める発言のみでした。

請願の採択では、共産党：宗田議員が、「インボイス制度自体が問題であり、小規模事業者やフリーランスなど一番苦しんでいる方々の思いを受けとめよ。」と、採択を迫りましたが、他会派は、「税の公平性を保つため」とか、「拙速導入ではなく経過措置もある」などを理由にして賛成せず、少数否決で不採択となりました。

今回の請願審議では、市民の声を聞こうとしない川崎市経済労働局と市議会多数派の冷たい政治姿勢がいよいよ明らかとなりました。

一方、川崎商工会議所は「インボイス方式の導入」について市議会に以下の要望書を提出しています。

「インボイス方式は、インボイスを発行できない免税事業者が取引から排除される恐れが懸念される。わが国には、消費税導入の平成元年 4 月以来 33 年間にわたり、帳簿保存方式による消費税計算が定着しており、インボイス方式を採用しなければ軽減税率に対応できないという理由はない。

よってインボイス方式導入に断固反対する。」

総務委員会の顔ぶれは以下です。

委員長：川島 雅裕（公）副委員長：各務 雅彦（自）

委員：嶋崎 嘉夫（自）浅野 文直（自）本間 賢次郎（自）宗田 裕之（共）後藤 真左美（共）市古 次郎（共）沼沢 和明（公）春 孝明（公）岩隈 千尋（み）木庭 理香子（み）押本 吉司（み）

※ 8 月 18 日の市議会総務委員会の様子↓↓↓

<https://www.kensakusystem.jp/kawasaki-vod/video/R04/R040818-01-1.html>

☆川崎市民大運動スタート集会

9 月 3 日（土）10:00 ～ 12:00

かわさきゆめホール

連絡先 市古博一（090-7830-8030）

光野正洋（090-4829-2414）

☆指定管理者制度について考える学習会

9 月 3 日（土）14：00 ～ 16：30

麻生市民館和室

図書館、市民館は、変わるのですか？

申込先 岡本 TEL 090-6153-9566

☆仮称「西加瀬プロジェクト」を考える会

9月4日 13時半より

会場：川崎市平和館屋内広場

住宅地に物流倉庫を作る初めての試み

騒音、振動、渋滞を生む巨大物流倉庫計画を許さない

メールアドレス souko.iranai@gmail.com

公式ホームページ <http://soukoiranai.html.xdomain.jp/>

LINE アカウント <https://lin.ee/IJUSBto>

☆ゆめシネマ ウクライナと戦争を考える日

違う視点から作られた二つのドキュメント

「ピアノ-ウクライナの尊厳を守る闘い」 <https://ukraine-piano.com/>

「ドンバス 2016」 <https://www.youtube.com/watch?v=ln8goeR5Rs4>

講演「即時停戦が市民を救う」(仮)

10月29日(土)2回上映

かわさきゆめホール

入場料：一般 1500 円 障がい者 750 円 学生以下 200 円

当日 200 円増

申込み：044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

(9/17 は都合により中止となりました。)

★ 編集後記

仮称「西加瀬プロジェクト」の環境アセスは、5月23日より縦覧を開始、7月6日に終了しました。

意見書締切は、同じく7月6日でしたが、市民から提出された意見書数は151名223通と多数になりました。それに対する見解書が8月中には提出される見込みでしたが、9月いっぱいまでずれ込むとのこと。

反対意見のあまりの多さに事業者側も動揺しているに違いありません。

この問題は、地域住民の生活環境破壊を許さない闘いです。

同時に、尻手黒川線、綱島街道を利用する事業者の営業を守る闘いでもあります。

また、労災病院の前は、上りも下りも渋滞が予想され、救急車、消防車などの緊急車両が走りにくくなるとすれば、命にも関わります。

9月4日の仮称「西加瀬プロジェクト」を考える会には、全市から駆けつけ、無謀な計画をストップさせましょう。(Y)